

平成19年度 事務事業評価表

担当	産業環境部 産業振興課	内線等	1241
事務事業名	農業振興事業	事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等	農林水産振興対策事業補助金交付要綱	Dその他	

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	農林業
------	---------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	農業者の組織する団体に
手 段	事業の実施に要する経費に対して補助金を交付することによって
想定する成果	農業の振興を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
事業費	102,777,000円	387,751,000円	369,500,000円
補助金額	13,098,000円	9,989,000円	4,187,000円
繰越金額	816,000円	157,000円	0円
対象団体数 （件数）	7団体	5団体	5団体

成果指標

成果指標名	補助率	事業費に対する繰越金額の割合
成果指標の説明	補助金額 / 事業費 × 100	繰越金額 / 事業費 × 100

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		12.74%				2.58%				1.13%			
成果指標		0.79%				0.04%				0.00%			
事業費	事業費	102,777				387,751				369,500			
	人件費	9,643				9,653				9,547			
	(人数)	正規	1.2	非常勤		正規	1.2	非常勤		正規	1.2	非常勤	
	合計	112,420				397,404				379,047			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	112,420				397,404				379,047			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	補助対象団体の運営費の一部としては有効に使っている。
経済効率性	2	1	2	1	補助対象団体によっては、総事業費に比べて金額も少ないため、事業の振興への貢献度はあまり期待できない。
事務効率性	2	2	2	2	各担当者が手分けして効率よく事務を執行している。
必要性	2	1	2	1	
小計	8	6	8	6	
施策への貢献度	2	-	3	-	
合計	10	6	11	6	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	C	B	C	各団体の運営事業費の一部としての補助金の性格だが、特にどの事業に使ったというものがなく、又、繰越金の増えている団体もあるため、見直しが必要。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
各団体の運営事業費の一部としての補助金の性格だが、特にどの事業に使ったというものがなく、又、繰越金の増えている団体もあるため、一律の団体補助をやめ、事業ごとに検討して補助金を出すという方式に見直しが必要。
上記改善点の実施状況
事業ごとの内容を十分精査し、農業振興に特に必要とするものに限り補助をしている。

今後さらに改善すべき点

時局に適合し、農業振興に必要な事業に限り補助する。

平成21年度予算に反映する項目

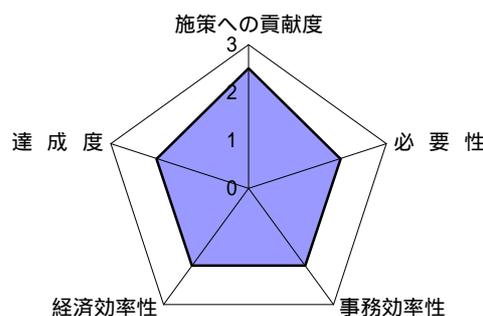
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点